

「さあ、はじめよう」講義要綱改訂主旨

特定非営利活動法人星のソムリエ機構
講義要綱の管理・運営事業グループ

2023 年 12 月 6 日

背景

「さあ、はじめよう」の講義内容については制度が始まった時点で問題があった。当初、柴田の原案ではビッグバン、宇宙膨張、宇宙の背景マイクロ波放射、宇宙年齢、大規模構造などは「さあ、はじめよう」では扱わない計画であった。しかし、一部のかたから入れるべきという強い意見があり、結局盛り込むことになった。

実際に講義を行なってみると、内容が膨らんだため 100 分では要綱の内容を講義で扱うのが難しいことが明らかになったが、放置されていた。

今後、実施団体が増えてくるに従って、講師の専門性が低下することが懸念され、講義要綱の重要性が増してくると予想される（講師独自の判断ではなく要綱に合わせて講義することが優先される）。従って、この放置の問題は解消しなければならない。つまり、講義要綱に従って講義すれば 100 分で失敗なく講義ができようとしておきたい。

法人化によって機構附属の実験講座が開設できることになった。そこで「さあ、はじめよう A(宇宙の歴史・大規模構造等を含む)」と「さあ、はじめよう B(含まない)」を同一受講生に受けてもらいアンケート調査した。その結果も参考にして、100 分で無理なくできる「さあ、はじめよう」の講義要綱に改訂することとした。

改訂のポイント

まず、実験講座の結果から説明する。宇宙の歴史・大規模構造等については、25 名中 19 名が「さあ、はじめよう」では含めない方が良く、7 名が含めた方がよいという意見であった。前者については新しいことがいっぱいでもとてもそこまで理解しきれない。あるいは、難しすぎるということであった。後者の意見の方は、すでにビッグバンや銀河団などについてある程度知っていて、それがないとなんとなく物足りないというものであった。つまり、ビッグバン、宇宙膨張などを知っている人からすると、「さあ、はじめよう」でそれが出てこないのは寂しい感じがするという心理が働いているようである。

「さあ、はじめよう」の全体の分量として、宇宙の歴史・大規模構造を含

めないバージョンでちょうどいいという意見は 16 人、まだ多いので減らして欲しい 6 人、増やして欲しい 1 人であった。

以上の結果を踏まえて、現在の要綱を吟味し、以下の方針で改訂作業をおこなった

1. 宇宙の歴史・大規模構造 (ビッグバン、宇宙膨張、宇宙の背景マイクロ波放射、ダークマター、銀河団など) は、「さあ、はじめよう」では扱わなくてもかまわないこととする。

なお、講師の自由裁量時間で含めるのは自由である。また、「宇宙はどんな世界」の講義要綱には含まれているので星のソムリエ講座全体をみればもちろん含まれている。

2. 「さあ、はじめよう」では、星空案内の現場で高い頻度で現れる天体や事柄に馴染んでもらうことを重点に考えて内容を厳選する。

本提案では以下で見るように結局 14 項目に絞った。100 分の講義の中で講師の自由裁量項目があることを踏まえると、14 項目であれば 1 項目あたり 5 分程度で説明することになる。

せっかく改定するので、講師の先生が理解しやすいよう改定した。要綱本文では、大項目と小項目およびその内容の要点を示した。講義要綱に(教科書を書くような)あまりに細かに記載すると教え方を強制してしまう。従って、細かい記載はしていない。

今回の改訂では項目の取りあつかいレベルを三段階で表現することにした。

... **であることを理解する**。途中の論理、メカニズムがあるもので、それを理解した上で知ることを目標にする内容。

例、地球の自転と日周運動の関係の理解。

... **であることを知る**。理屈はよくわからないがそのことを知っていてほしい内容。

例、恒星の色と温度の関係を知って欲しいが、その理論まで理解することは要求しない。

... **であることを紹介する**。まずとりあえず講義で紹介する内容。暗記する必要はないが、心の片隅にあって、必要なら本を読み返して思い出してもらえなという内容。

例、重い星の最期に超新星爆発があり、中性子星・ブラックホールができることは紹介するが、覚えておくことを課さない。

講義要綱の管理・運営事業グループメンバー

荒明 慎久、瓜生 こずえ、久米 靖啓、甲田 昌樹、佐藤 清史、○ 柴田 晋平、瀧本 麻須美、萩野 祐司、福島 良介、藤井 慎一郎、船越 浩海、渡邊 瑛里、和田 浩一 (五十音順、○ 印は代表者)